

# ほほえみ

桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
電話番号 0277-44-7171(代) FAX 0277-44-7170  
URL <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

◇ マンモグラフィ検診施設画像認定を取得しました

診療放射線技師 石川 理恵

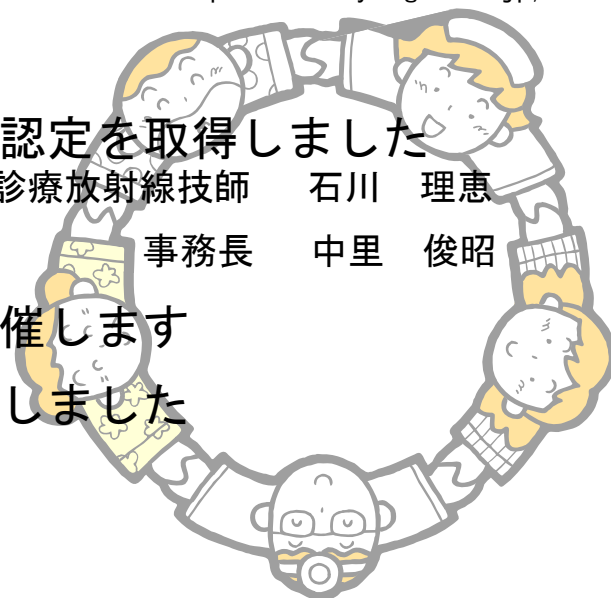
◇ 事務長就任あいさつ

事務長 中里 俊昭

◇ 『第2回市民公開講座』を開催します

◇ 『地域医療連携室』が引っ越しました

◇ 外来診療担当医表



## 《基本理念》

向学心と優しさに満ちた医療

## 《基本方針》

1. 私たちは、患者さんの人権を守り、患者さん中心の安全で優しさに満ちた医療を行うよう努めます。
2. 私たちは、日々研鑽し、患者さんに良質で高度の医療技術と医療サービスを提供するよう努めます。
3. 私たちは、地域中核病院として、他の医療機関との連携を推進し、地域医療のニーズに応えるよう努めます。
4. 私たちは、地域に密着した医療を提供し、地域住民の厚い信頼を得るよう努めます。

## 《患者さんの権利》

1. ひとりの人間として尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
2. 治療内容、症状、経過などについて、わかりやすい言葉で納得できるまで説明を受けることができます。
3. 十分な情報提供に基づき、自らの自由意思で医療を選択し、決定することができます。
4. プライバシーが尊重され、診療上得られた個人の情報が保護されるすることができます。
5. 他の医師あるいは他の医療機関の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます。
6. 医療記録の開示を受けることができます。

## 《患者さんの責務》

1. 医師及び医療チームに対して、自らの情報を正確に伝え、適切な医療の実現に参加してください。
2. 院内では、他の方の権利を侵害せず、ルールをお守りください。
3. 研修医・看護学生など、これからの医療従事者の教育実習・研修を実施していますので、ご協力ください。

# マンモグラフィ検診施設画像認定を取得しました

診療放射線技師 いしかわ りえ  
石川 理恵



乳がんは、現在増加し続けており、女性のがんでは発生率第一位です。しかし、乳がんは、早期に発見し治療を行えば予後は良好で、乳房を残す温存療法により生活の質の維持・向上が期待されます。マンモグラフィ（乳房 X 線検査）では、触っても判らないような早期の乳がんやしこりを作らない乳がんを発見することができ、マンモグラフィを使用した乳がん検診のことをマンモグラフィ検診と言います。

マンモグラフィ検診を高い精度で行うには、読影医師、撮影技師の他にマンモグラフィ装置等においても精度管理が重要になります。そこで、今回マンモグラフィ検診施設画像認定を受けました。この認定では、書類審査、画像評価、線量評価が行われ、検診だけでなく精密検査を実施するにあたって満足できる水準の施設であると認められました。

また、当院では、NPO 法人マンモグラフィ検診精度中央委員会の認定を受けた読影医師 5 名と撮影技師 6 名がいます。検診における読影診断は上記の医師によるダブルチェックが行われ、撮影においては全ての乳房撮影を女性技師が担当しています。

## マンモグラフィについて・・・

マンモグラフィは、乳房を挟み<sup>はさ</sup>圧迫して写真を撮ります。圧迫することにより厚さの違う乳房が均等になり乳房全体を鮮明に写し出すことができます。また、厚みが薄い方が放射線の量も少なくすることができます。人により痛み方は違いますが、圧迫することにより痛みを伴うことがあります。しかし、質の良い画像を撮るために圧迫が大切になりますので、ご理解を頂き、ご協力ください。



当院は、精密検査施設でもありますので、乳がん検診で異常が見つかり、精密検査を受ける方や自分でしこりなどの異常に気づき精密検査を受ける方は外科外来を受診してください。精密検査ではマンモグラフィ（追加撮影）、超音波検査、必要に応じて乳頭分泌液の細胞診、超音波やマンモグラフィ下での針生検などを行います。当院には、日本乳癌学会の乳腺専門医も常勤し、今後乳腺外来の新設も予定していますので、心配なことがありましたら早めの受診をお勧めします。



また、当院では、温存術後の放射線治療も行っており、放射線治療施設の認定も受けています。そして、放射線治療は、放射線治療専門医師 2 名と放射線治療専門技師 2 名で行っています。当院は、乳がんに関する診断から治療まで全てが一貫して行える東毛地区の基幹病院であり、今後もより一貫性の高い診療ができるよう努力していきたいと思います。



# 事務長就任あいさつ

事務長 なかざと 中里 としあき 俊昭

4月1日付をもって桐生厚生総合病院の事務長に就任いたしました中里と申します。本来なら関係する皆様を訪問し、親しくご挨拶申しあげるところでございますが、多くの課題を前にしてご挨拶かなわず、桐生市医師会をはじめ、各種団体・関係機関へのご無礼を深くお詫び申し上げます。

今後、機会あるごとにお邪魔をさせていただき、ご指導賜りたいと思っておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

さて、国や県、市町村に於いては、今日の厳しい財政状況下で財政の健全化が喫緊きつぎんの課題となっておりますが、こうした動きは、桐生市、みどり市はもとより、当院の管理運営にも大きく影響しており、病院の財政面に於いても今後の医療収益の拡大、事業経費の見直し等々、広範にわたっての改善努力が求められております。

こうした状況にあつて、地域医療の問題、特に医師不足や、看護師不足等々の問題が深刻化するなど、当院を取り巻く環境は一層の厳しさを増しております。

とりわけ医師不足の問題は、地域の中核病院として位置付けられている当院にとっても早急の対応が迫られており、神経内科をはじめ心臓血管外科、循環器系の常勤医師の確保は、緊急にも取り組んで行かなければならない最重点課題であると考えております。

そのためには、新たな医師の確保対策はもとより、医師や看護師への処遇改善や専用住宅の提供など、少しでも働きやすい職場として実感できるような医療職場の環境改善にも取り組んで行かなければならないと考えております。

その上で、地域住民への良質な医療を安全かつ継続して提供できるよう、そして多くの患者さんが、安心して公平、公正な診療を受けられるよう、病院をあげて懸命の努力をしまいたいと考えております。

また、こうした改善策については、すでに桐生地域医療改善協議会の中間答申の中でも幅広くご指摘をいただき、引き続き桐生市医師会をはじめとする多くの関係者のご意見を賜りながら早々にも改善に向け取り組んでまいりたいと考えております。

今後に於いても、院長を中心に院内一丸となつて、桐生厚生総合病院を盛り立てて行きたいと思っておりますが、当院がこれからも地域住民に健康と安心を提供し、常に信頼される病院であり続けられるよう、医師会をはじめ、多くの関係者の皆様のご支援、ご協力をお願い申しあげます。



現在、当院のマンモグラフィ検診は、日帰り、一泊ドックのオプションとして行っています。

また、桐生市の個別検診を今年度は8月～11月の午後（月曜日～金曜日の水曜を除く）に行います。乳がん個別検診は40歳以上で、前年度未受診者の女性を対象に行います。

**乳がんは、早期発見、早期治療が大切です。  
是非、マンモグラフィ検診を受けましょう。**



# 「第2回 市民公開講座」を開催します。

—化学療法（抗がん剤治療）について—

平成20年度  
都道府県がん診療連携拠点病院強化事業

第2回地域がん診療連携拠点病院「市民公開講座」では、実際の抗がん剤の使用方法、副作用などについて講演をおこなうとともに、医師以外の職種がどのように関わっているかをお話しします。

化学療法とは、抗がん剤を使った治療です。抗がん剤は、手術や放射線治療と組み合わせて使用する場合と単独で使う場合があります。また、がんの部位・程度・再発かどうかなどにより、使用する薬剤が決まります。抗がん剤治療は日々進歩しており、より効果的で副作用の少ない方法でおこなわれるようになりました。

講演の後半では、外来通院での化学療法について、外来化学療法室の紹介と合わせてご説明いたします。どうぞお問い合わせの上ご参加ください。

と き

平成 20年7月12日（土）  
14：00～15：30（開場13：30）

ところ

桐生厚生総合病院 2階講堂  
（100名収容）

参加費

無料 参加自由  
（事前申し込み不要）  
とまる ゆきお

プログラム

座 長：登丸 行雄（桐生厚生総合病院 泌尿器科部長）

講 演 1：平松 聖史（桐生厚生総合病院 外科部長）

講 演 2：鏡 一成（桐生厚生総合病院 産婦人科部長）  
「当院における化学療法の現状」

講 演 3：細谷 潤（桐生厚生総合病院 薬剤部主査）  
「婦人科がんに対する抗がん剤治療」

講 演 4：太田 小百合（桐生厚生総合病院 化学療法室看護師）  
「化学療法における薬剤師の関わり」  
「外来化学療法室の紹介」

問い合わせ先

桐生厚生総合病院 地域医療連携室 TEL0277-44-7165（相談支援センター）  
（問い合わせ時間：平日9：00～12：00、13：00～16：00）

\*お車でお越しの方は、当院駐車場をご利用ください。（無料扱いになります）

主催：桐生厚生総合病院  
後援：群馬県

## 第1回市民公開講座

平成20年3月8日（土）桐生厚生総合病院2階講堂で市民公開講座が開催されました。

座 長：加藤 健司（桐生厚生総合病院 副院長兼外科部長）

講 演 1：高橋 満弘（桐生厚生総合病院 放射線科部長） 「がんと放射線治療」

講 演 2：岡島 藤香（桐生厚生総合病院 精神神経科臨床心理士） 「がん医療と心のケア」

講 演 3：千明 優子（桐生厚生総合病院 前看護部長） 「相談支援センターの紹介」

以上の演題で開催いたしました。市民の方々（107名）が受講されました。

なお、内容については、当院ホームページからご覧になれます。



# 『地域医療連携室』が引っ越しました

今年度工事予定でありました地域医療連携室の設置工事が完了し、6月9日から新しい部屋で業務を開始しました。

以前は、患者さんが利用するエリアと離れていて、わかりにくいとのご指摘をいただきましたが、新しい場所は1階にあり、外来部門や病棟、出入口にも近く、迷わずに立ち寄れるのではないかと思います。また、室内には、独立した相談室を2室確保し、利用される方のプライバシーを今まで以上に確保するほか、重なった場合でもじっくり相談できるようになりました。なお、必要に応じて、相談員が病棟に赴き、カンファレンス室等でお話をお伺いすることもあります。

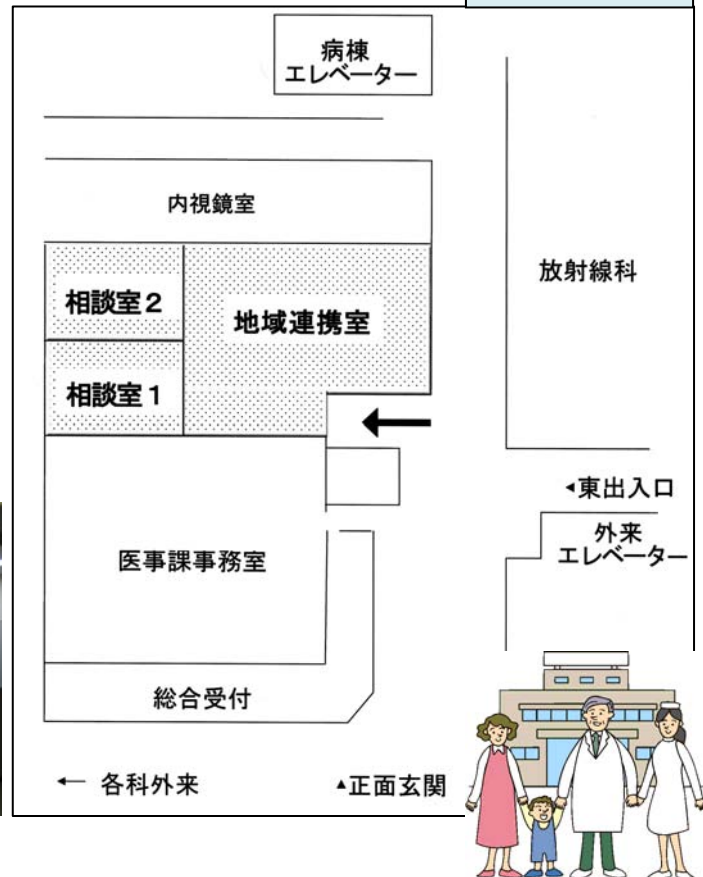


相談室 1・2



地域連携室入口

## 1階平面図



業務は、従来からの、

### ①患者さんの様々な医療福祉相談支援

【介護保険や公費の医療助成制度の利用支援、転院先の相談・紹介支援、在宅移行後の支援など】

### ②紹介患者さんの事前紹介のスムーズな受入

【診察、検査（CT・MRI・R1シンチ）、糖尿病栄養食事指導】

※事前紹介の有無にかかわらず、紹介状をお持ちの患者さんは、今まで同様、

1階総合受付の8番の専用受付に、紹介状と保険証や受給者証をお出しください。

### ③紹介いただいた先生への来院後のご報告

などを中心に行っております。

【対応時間：平日8：45から17：30（土曜、日曜及び祝日は行っていません。）】

このほか、がん診療連携拠点病院に係る「相談支援センター」の業務も併せ行っております。

職員は、この4月の増員により、室長の加藤副院長（兼外科診療部長）を始め、専従職員が8名おります。このうち、3名は「社会福祉士」の資格を有するほか、さらにその中の1名は、看護師の資格を有しており、医療現場での看護の経験者でもあります。

今後は、ますます地域の連携が重要になってくると考えられます。当院は、地域の中核医療機関として、他の医療機関や介護関係施設などとの連携を一層推進し、それぞれの役割・機能が十分に発揮でき、地域全体で地域医療を支える一翼が担えますよう、今後とも努力してまいります。

なお、当院に救急以外で受診される際は、是非地域のかかりつけ医の先生の事前紹介予約か、紹介状をいただいて来院して下さることをお勧めします。診察までの待ち時間や費用などの面で異なります。

（※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。）